

日本労働年鑑 第54集 1984年版
The Labour Year Book of Japan 1984

第二部 労働運動

III 労働争議

5 とくに注目される争議

一九八二年ならびに八三年前半中に発生、あるいは解決した争議のうち、とくに注目されるのは、以下のものである。(1)北炭夕張新鉱の再建をめぐる炭労の争議、(2)一九七九年三月に始まり八三年二月に解決した指名解雇をめぐる全造船玉島分会の争議、(3)一九七四年七月に始まり実に九年ぶりで八三年二月に和解成立となった細川活版所の工場閉鎖・大量解雇をめぐる争議、(4)人事院勧告の凍結をめぐる公務員共闘傘下組合の闘争。これらのうち、(1)～(3)は第二部—Ⅴ「合理化反対闘争」の2で、(4)は「特集:人事院勧告凍結問題」でとりあげられているので、参照されたい。

【参考資料】労働大臣官房統計情報部『昭和五七年労働争議統計調査年報告』

日本労働年鑑 第54集 1984年版

発行 1983年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 ●

2001年8月28日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1984年版(第54集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)